

一般職業紹介状況(平成24年3月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.04ポイント上昇の0.76倍で、3か月ぶりに前月を上回った。

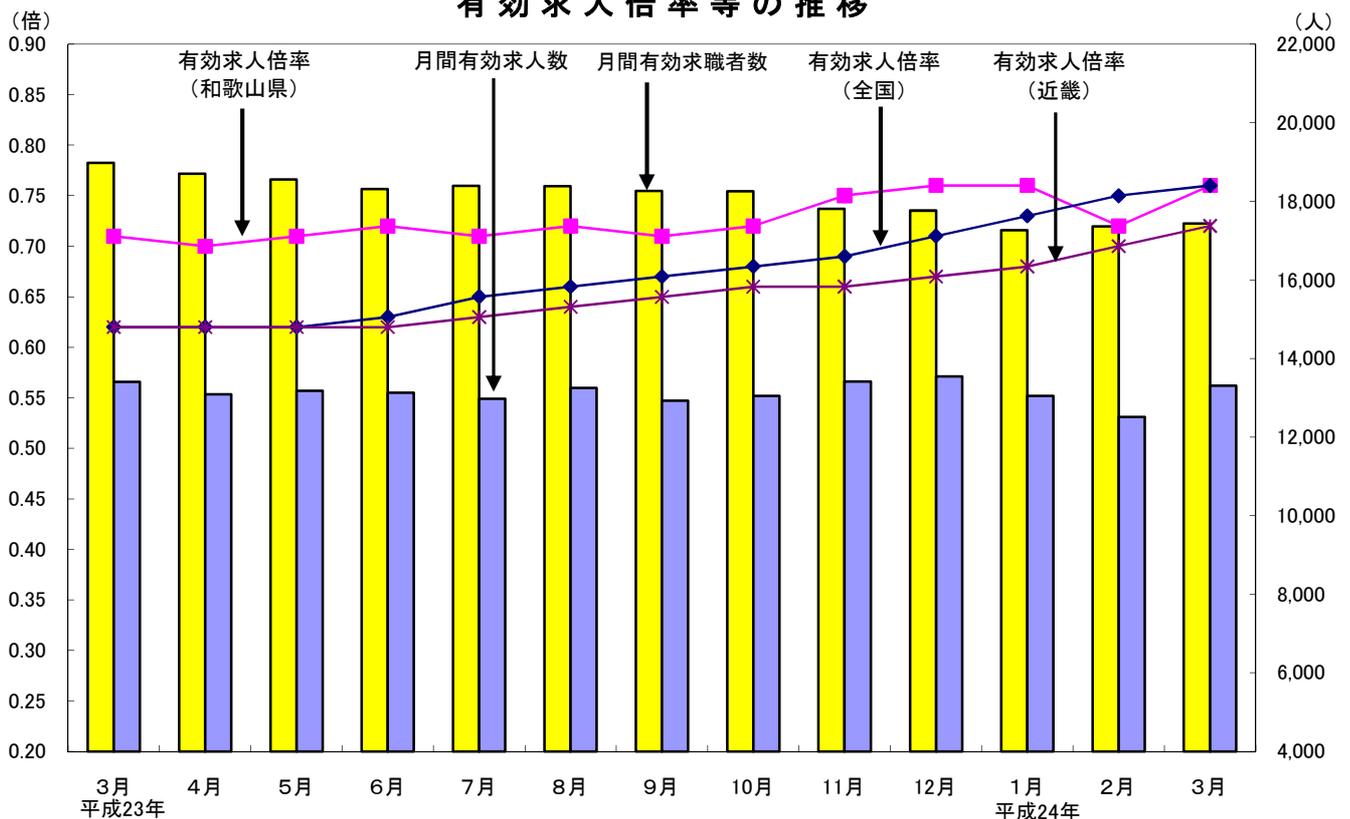
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.72倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.18倍で、前月より0.05ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比4.6%減。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比11.1%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.05ポイント上昇の1.18倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍となり、前月を0.04ポイント上回った。また、平成23年度平均の有効求人倍率は0.73倍で、前年度より0.11ポイントの上昇となった。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.05ポイント上昇の0.42倍で、21か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,566人で、前年同月比4.6%減(2か月連続減)となった。
有効求人数(原数値)は14,212人で、前年同月比0.5%減(2か月連続減)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「情報通信業」(68人増)、「建設業」(37人増)、「農、林、漁業」(23人増)、「製造業」(20人増)、「宿泊業、飲食サービス業」(20人増)などで増加し、「卸売業、小売業」(149人減)、「サービス業」(133人減)、「教育、学習支援業」(98人減)、「生活関連サービス業、娯楽業」(79人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は3,034人で前年同月比12.2%減、パート求人数は2,532人で前年同月比6.4%増となった。

3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は4,939人で、前年同月比11.1%減(7か月連続減)となった。
有効求職者数(原数値)は17,836人で、前年同月比8.7%減(12か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は1,232人で前年同月比3.4%減(2か月ぶり減)、離職者は2,704人で同12.5%減(14か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は632人で同17.6%減(2か月ぶり減)、自己都合離職は1,871人で同10.0%減(12か月連続減)、また、無業者は960人で同17.1%減(4か月連続減)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は3,944人で、前年同月比6.2%減(3か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は2,063人で、前年同月比6.3%減(4か月連続減)となった。

5 まとめ

季節調整値で、有効求職者数、有効求人数とも前月に比べ増加しているが、求職は微増であるのに対し求人は増加幅が大きいことから、前月に落ち込んだ有効求人倍率は、昨年11月から今年1月の水準に回復した。ただし、このところ新規求人への事業主意欲が弱く、雇用情勢は依然として厳しい状況にある。今後の求人の動向に注意が必要である。